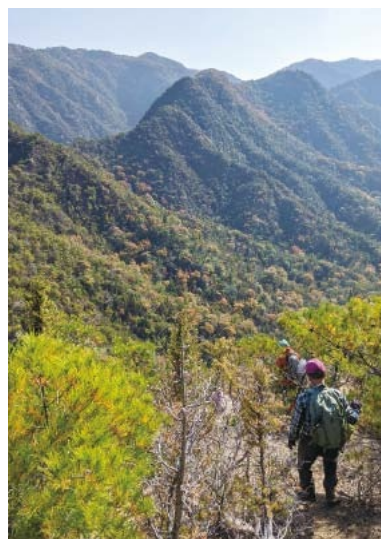


三原の里山 ユーチューブに英語で発信中



▲動画で紹介している田野浦岩稜エリア

沼田川下流に近い市南部の宗郷と田野浦の間にある通称「田野浦岩稜246」。正式名称ではなく、高さは250メートルほどの山が連なる里山です。といっても巨石があちこちに点在し、登るにはやや難しい登山経験者向けの山です。この山が今、インターネットの動画投稿サイトユーチューブに英語で紹介され、話題を呼んでいます。

投稿したのは三原の自然を探访し、その魅力を伝える活動をしている「みはら自然史研究会」の皆さん。メンバーの吉原和喜さん(61)は、「地域では当たり前でも、海外の人にとってはその風景や人の暮らしこそが魅力的なもの。瀬戸内への注目が高まっていることから、花こう岩の地質や植生など瀬戸内エリアの典型と言えるこの山を選んだ」と話します。会員が山に登る様子を写した映像を使い、ナレーションや字幕は知人や仲間と相談しながら全て英語で制作。動画を見た地元の人たちからも、「こんな景色が行ってみたい」と好評です。研究会は、三原の山や海などの自然、史跡、人と自然のつながりなどに、関心を持つ会社員や公務員、大学教員らが平成16年に結成。現在は30〜70歳代の10人が、地質や動植物の生態など各人が興味のある分野について調査、研究をしています。

戸内エリアの典型と言えるこの山を選んだ」と話します。会員が山に登る様子を写した映像を使い、ナレーションや字幕は知人や仲間と相談しながら全て英語で制作。動画を見た地元の人たちからも、「こんな景色が行ってみたい」と好評です。研究会は、三原の山や海などの自然、史跡、人と自然のつながりなどに、関心を持つ会社員や公務員、大学教員らが平成16年に結成。現在は30〜70歳代の10人が、地質や動植物の生態など各人が興味のある分野について調査、研究をしています。



▲設立総会時の皆さん

「大切な自然を次世代に伝えたい」と活動を続け、定例会を開いては情報を交換。現在は市内に点在する巨石や地質について調べています。会員が大事にしているのは実際に現地を訪れ、本物に触れること。調査した成果は、専門の学会で発表したり、企画展に展示したりするなどして、自然史の普及や啓発に取り組んでいます。自然史といっても堅苦しいものではなく、対象は身近な自然。最近では、市の「久井岩海調査」に会員が協力。令和3年2月、3月に久井歴史民俗資料館で開かれた市主催の企画展「久井岩海のキセキ」で来場者に久井町の自然を紹介した絵はがきを配布しました。ユーチューブへの投稿は第2弾を企画。吉原さんは、「当たり前のように身近にあり、私たちの生活と深い関わりを持つ三原の自然。これからもその魅力を多くの人に知ってもらい、ふるさと三原に誇りを持ってほしい」と活動に意欲を見せています。



▲ユーチューブで公開しています

※この企画は、三原の魅力を発信するシティプロモーション事業の認定を受けた団体を紹介し、三原の魅力を再認識しようというものです。

令和3(2021)年6月号
第195号 毎月1日発行
編集・発行／三原市広報戦略課

〒723-8600 広島県三原市港町三丁目5番1号
代表 ☎0848-642111 ☎0848-647101
E-mail: info@city.mihara.hiroshima.jp

再生紙と大豆インクを使用しています。
点字版や録音CDも発行しています。
問い合わせは広報戦略課 ☎0848-676007へ。

三原市の人口 (4月30日現在)	
※外国人住民を含む。	
※()内は前年同月との比較。	
世帯数	43,561 世帯 (-294)
人口	91,228 人 (-1,517)
男	43,847 人 (-770)
女	47,381 人 (-747)
人口移動の詳細については 広島県 人口移動 月報 で検索	

税などの納期 (普通徴収)	
○市県民税 (第1期)	納期限 6月30日(水)まで
夜間収納・証明書 交付業務の窓口 (19時まで)	毎週木曜日
航空機の騒音測定結果(4月分)(Lden)	
▶正広局(本郷町善入寺正広)	=44.8
▶本郷局(本郷町船木川西上)	=49.9

三原市の魅力や情報を発信中

公式SNS		ライン	
フェイスブック facebook		LINE	
	ユーチューブ YouTube		ノート note

メール配信サービス

防災情報などをスマホやパソコンに配信

ラジオ局 FMみはら87.4MHz

行政情報番組
【教えて三原-聞いて役立つ三原ガイドー】
①日曜日15時10分～、月～金曜日①6時43分～
②12時10分～③20時10分～ (各15分間)
※全て同じ内容。

問 広報戦略課 ☎0848-67-6007

あ・と・が・き
今年も梅雨を迎え、大雨による災害が起こりやすい時期がやって来りました。災害時の備えの一つとして、情報収集の方法を確認しておくことが大切です。市が配布しているFM告知端末ラジオでは、市からお知らせする災害情報だけでなく、FMみはら(87.4メガヘルツ)の放送も聞くことができます。今月号の特集(2・3ページ)では、普段放送しているFMみはらのオリジナル番組や出演者などについて写真と一緒で紹介しています。私も普段からラジオを聞く習慣を身につけて、災害時の情報収集に備えたいと思います(1)